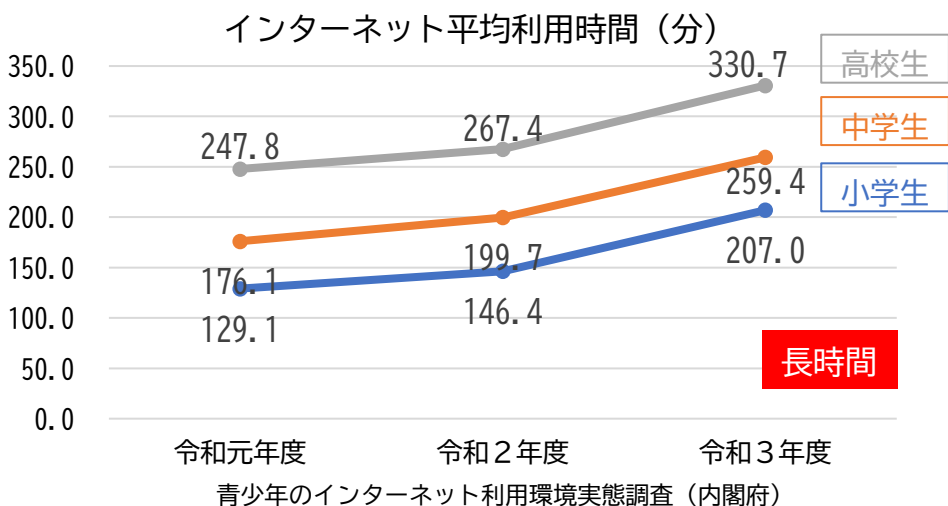
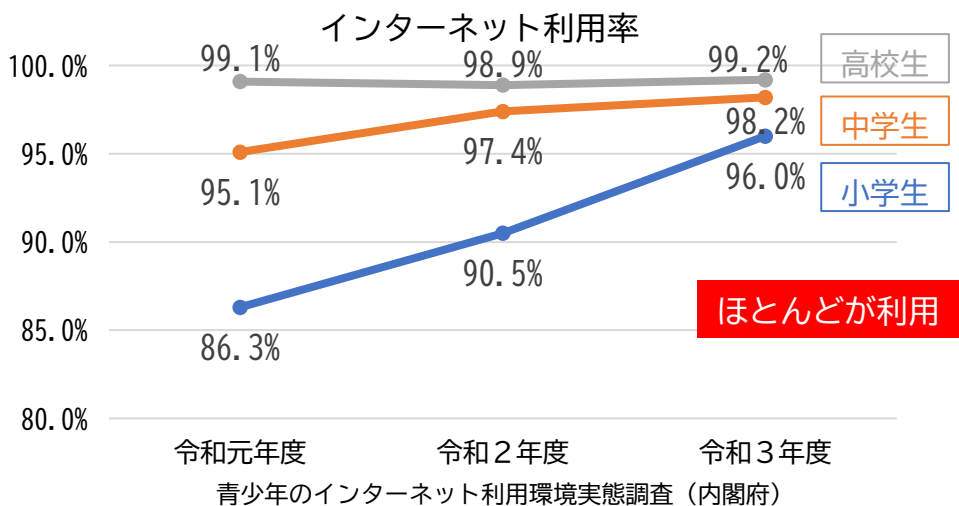
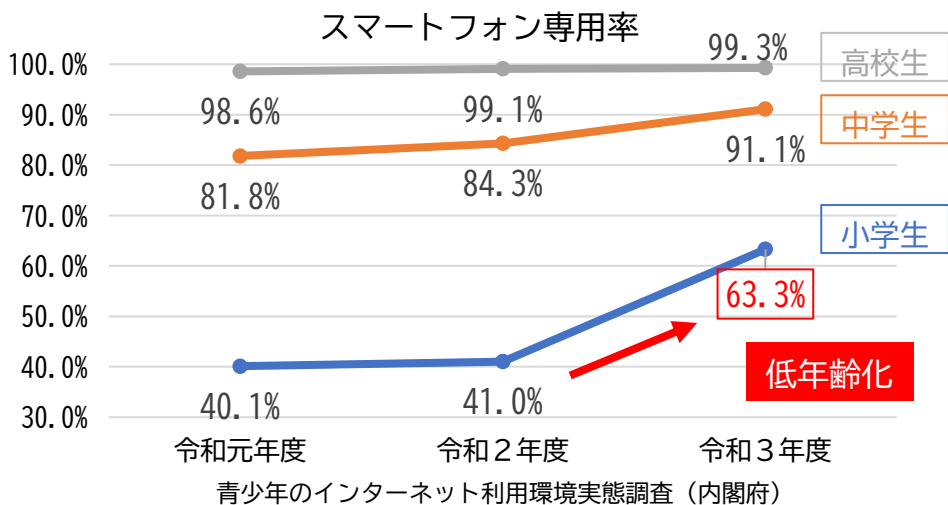


見直してみましょう！ 青少年のインターネット利用

正しく
使っているかなあ



青少年の携帯端末保有増加・低年齢化 インターネットの利用増加





インターネットの特徴

記録性	一度投稿されると、なかなか削除できない デジタルタトゥー
特定性	情報が組み合わさると住所や生活情報が特定される
流出性	情報が簡単にコピーでき、情報が漏れることがある
拡散性	投稿された写真はすぐに広がり、たくさんの人が見ることができる
匿名性	インターネット上では、アカウントやユーザー名で識別されるため、実際の人物がわからない

インターネットは最新の情報や自分の欲しい情報を簡単に手に入れることができる反面、上のような特徴があります。

また、信憑性のない情報も含まれています。

トラブルや犯罪被害に遭わないよう子どもたちに正しく理解させたいうえで、インターネットを利用させることが大切です。

インターネットでのトラブル事例

- ① グループトークでの友人とのトラブル
- ② 自画撮り写真の交換に端を発した脅迫被害
- ③ 心のよりどころだったSNS上の知人による誘い出し
- ④ 他者の権利を侵害する投稿・二次利用・ダウンロード
- ⑤ オンラインゲームをめぐるさまざまなトラブル
- ⑥ フリマなどネットを介した個人間取引によるトラブル
- ⑦ 個人や学校などへの脅迫行為や犯行予告
- ⑧ 不正アクセスを狙って偽ログイン画面を開設
- ⑨ 悪意で設置されたWi-Fiスポットを使用し情報が流出
- ⑩ メールからの誘導によるフィッシング詐欺被害
- ⑪ 入力した個人情報が目的外で利用?!
- ⑫ 投稿から個人が特定されたことによる被害
- ⑬ 悪ふざけなどの不適切な投稿
- ⑭ コミュニティサイトなどでの未成年によるアプローチ
- ⑮ アルバイト応募が招いた犯罪への加担
- ⑯ SNS等での誹謗中傷による慰謝料請求

ネットで出会った相談相手に会いに行き



※ DMは「ダイレクトメッセージ」。複数の人たちとやりとりする場でのメッセージでなく、個人同士が直接やりとりできるメッセージ機能。

辛いことが続き、SNSにつぶやいていたDさん。
気持ちが落ち着くメッセージをくれる人に出会い、
DMでやりとりするうちに、会いに行くことになりました。

そのまま連絡がつかなくなってしまった



出かけたきり家に帰ってこなくなり、家族が警察に相談。誰にも言わずに会いに行ったことは、DさんのSNSの記録を確認して初めてわかったのです。



青少年を守るために

家族で話し合い、スマホ利用のルールづくり

- ☆ 長時間利用による生活習慣の乱れや、SNS上の不適切な投稿によりいじめやプライバシー上のトラブルに陥るなど、インターネット利用における問題が深刻化しています。
- ☆ インターネットのトラブルは子どもだけでは解決が難しいことが多くあります。
- ☆ インターネットの危険性について子どもと大人で話し合い、家庭のルールをつくることが大切です。
- ☆ 子どもをルールで縛るのではなく、なぜそのルールが必要なのかを、子どもと大人が一緒に考えましょう。

項目	ルールの例
インターネットの利用	危険なサイトにアクセスしないよう、フィルタリングサービス（有害サイトアクセス制限）を利用する。
料金	決められた金額以上は使わない。
時間と場所	使って良い時間と場所を決める。
人に迷惑をかけない	・ 電車やバスの中など多くの人が集まる場所では、マナーモードにするか、電源を切る。 ・ 写真を撮るときは相手の了解を得る。 ・ インターネット掲示板やメールで他人を傷つけるようなことを書き込まない。 ・ 他の人が作った絵や音楽を勝手にインターネット上に公開しない。 ・ 違法なサイトから音楽や映像をダウンロードしない。 ・ お店で売っている本や雑誌を写真に撮らない。
安全に使う	・ 歩行中や自転車に乗っているときはスマホを使わない。 ・ インターネット上に、自分や友達の名前、住所、顔写真などを公開しない。 ・ チェーンメールや知らない人からのメールは無視する。 ・ 不安なことや心配なことは、すぐに保護者に相談する。

保護者は、インターネットの利用に伴う危険性、過度の利用による弊害等を認識し、その保護する青少年に対し、インターネットを適切に活用するために必要な教育を行うとともに、当該青少年のインターネットの利用を適切に管理するよう努めなければならない。

（奈良県青少年の健全育成に関する条例第19条の2第3項）

青少年を守るために

フィルタリングサービス（有害サイトアクセス制限）の利用

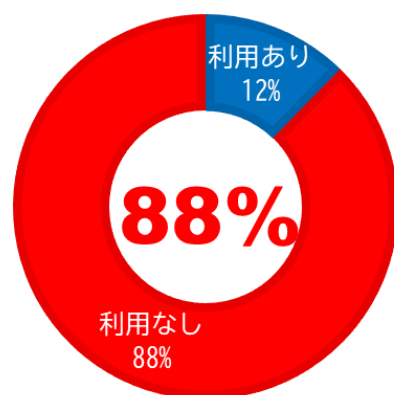
フィルタリングは青少年を違法・有害情報との不用意な接触から守り、安心・安全にインターネットを利用する手助けをするサービスです。

例えるなら、ネットの世界に漂う「見えない危険」から身を守るための“マスク”。

冷静さを欠いたアクセスに適度なブレーキをかけるだけでなく、見た目ではわかりづらい悪意の仕掛けがあるサイト等へのアクセスを防いでくれる頼もしいツールです。

現在は携帯電話事業者をはじめ各社がフィルタリングサービスを提供しており、年齢や家庭のルールに応じてカスタマイズすることも可能です。

SNSに起因する事犯の被害児童のフィルタリング利用状況



令和3年における少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況
(令和4年3月 警察庁生活安全局少年課)

携帯電話端末等を使用する者が18歳未満の場合は、有害情報の閲覧機会を最小化するため、法律に基づき、原則としてフィルタリングサービスを利用しなくてはなりません。

- うちの子に限って不適切なインターネット利用はありえない
 - 子供を信用しているから
 - 特に必要だと思わないから
 - 子どもがインターネットを自由に使えないのは、かわいそうだから
 - フィルタリングしないように子どもに頼まれたから
- などと考えていませんか？



違法サイト

出会い系サイト

アダルトサイト

⋮

県の主な取り組み

専門講師派遣

青少年のインターネットを介したトラブルを防ぐことを目的として、青少年がインターネットを安全に安心して利用するための能力（インターネットリテラシー）を高めるための講習会に専門講師を派遣します。

スマホ・ケータイ出前講習会 県政出前トーク



スマホ・ケータイ出前講習会

大学生をインターネット利用における危険性と安全な利用方法についての指導者として養成して、小・中学校に講師派遣し、大学生が自身の経験を交えながら講習を行うことで、小・中学生に安全なインターネット利用を啓発します。

県政出前トーク

県職員がお伺いして小・中学生の安全なインターネット利用を啓発します。

スマホ学生フォーラム

高校生、大学生等がインターネットの適切な利用に関し自らが実践してきたことや、考えていることなどを発表する機会としてフォーラムを開催します。



携帯電話インターネット接続役務提供事業者に対する合同立入調査

県内の携帯電話販売店（携帯電話インターネット接続役務提供事業者、家電量販店等を含む）に対して、青少年の携帯電話端末等の使用におけるフィルタリングサービスの利用促進のための義務等の遵守状況を確認するため、奈良県青少年の健全育成に関する条例に定める立入調査を行っています。（県内145店舗）

実施校の児童・生徒からの感想(抜粋)

- 一番学んだのは、ネットいじめです。私もスマホを持っているので、ラインは家族以外あまりしないようにしようと思いました。
- 自撮りとかして、インターネットにあげるだけで、怖いことがおきるなんて初めて知りました。これから気をつけていきたいです。
- ゲームを1000時間やっていたので、次からは時間を減らしていきたいと思います。
- 自撮りで電柱に書いてある住所で住んでいるところが分かったと知って怖かったです。
- 「ネットいじめ」では、ニュースで見て怖いと思ったけど、身近にある物だと分かりました。またこれから中学生になるにつれ、スマホをさわる機会が増えると思いますが、個人情報をもらさないように楽しみたいと思います。
- スマホを見る時間やルールを決めてしようと思いました。
- 自分がスマホをかったら、フィルタリングをつけようと思います。
- ネットいじめでいじめられたら、すぐに大人に話そうと思いました。
- ネットの危険を甘く見てはいけないなと思いました。
- フィルタリングについて、知らない人から守る機能なんだとわかりました。
- 私はネットいじめを経験しているので、無言でブロックされたので個人情報を公開しないでおこうと思いました。
- これからスマホを使う時は気をつけて、何かあったらお家の人に相談しようと思います。
- 僕はTikTokで動画をあげられ、いやな気持ちになりました。今日教えてもらったことを守ってみんなで楽しくスマホをつかえたらいいなと思いました。
- 知らない人からDMとか来たときに、気をつけないといけないなと思いました。
- フィルタリングのことをお母さんやお父さんに教えてあげようと思いました。
- これからツイッターで嫌なことや傷つく言葉を発言することが絶対ないようにしたいです。
- TikTokをする時に、自撮りや、個人情報を出さないように気をつけようと思いました。
- インターネットは、時には個人情報が流れて、住所を特定されたり恐ろしいと思いました。
- 今までは、家族とのスマホの約束は破ってしまっていたんですが、これからは親の言うことを聞いて使っていきたいと思います。
- 小学生も犯罪にあっていたなんて思わなかったです。
- 自撮りをあげるのはできるだけしないようにしていきたいと思いました。携帯を買う時は、フィルタリングをつけようと思います。
- スマホの使い方について、子どもだから大丈夫と言った考えはダメだと分かりました。
- ゲームやインターネットは楽しいけど、危険と隣り合わせだということがわかりました。
- スマホやケータイについて、おかしいことがあったら、親に言うようにしようと思います。
- 課金は1万円ほどしていたので、これ以上しないことを心がけます。
- アプリなど、慎重に見てダウンロードしようと思います。
- 家に帰って、フィルタリングの事を話そうと思います。

関連サイト紹介

フィルタリングサービス			
NTTドコモ	au	ソフトバンク	Y!mobile
			

関係省庁・奈良県			
インターネットトラブル事例集  総務省	上手にネットと付き合おう！安心・安全なインターネット利用ガイド  総務省	情報モラル教育の充実等  文部科学省	青少年有害環境対策  内閣府
インターネットをめぐる消費者トラブル  消費者庁	 青少年のスマホ・ケータイ三つの約束 啓発動画 (You Tube)		

【お問い合わせ】

奈良県文化・教育・くらし創造部
青少年・社会活動推進課
〒 630-8501 奈良市登大路町30
TEL : 0742-27-8608